

循環器疾患の最先端医療を  
追究し続けるチャレンジャー

循環器疾患の最先端医療を追究し  
具現化することを目的として、6年  
前に豊橋ハートセンターを開設した  
鈴木孝彦先生。「心疾患医療は常に  
進歩していますので、症例が多い専

門病院で治療を受けたほうが安心。  
治療のガイドラインはありますが、こ  
れは標準的なもので、けっしてベスト  
ではありません。患者さんにとってベ  
ストを求めるのが専門病院の役割で

す」

常に新たなチャレンジを続ける鈴  
木先生。その一つに手術のライブ中  
継がある。医師たちの技術向上と情  
報開示を目的に行っている取り組み  
だ。「毎月最低でも1回はやっています。  
当院だけでなく他の施設でも行  
います。ライブ中継をするだけで技  
術ががぜん上がりますよ」。自分の手  
技を大勢の人に公開するライブ手術  
では、その方法について忌憚のない意  
見飛び交う。治療者も見学者も肩  
書きや社会的ステータスをすべて取  
り払って、「医師として参加するから

だ。「全員で治療技術を切磋琢磨す  
る」と鈴木先生は強調する。

「技術だけでなくカリスマ性がある  
先生」と多くの医師たちから熱い支持  
を集める鈴木先生は、CCT(Comp  
lex Catheter Therapeutics)という  
ライブ手術を核とした世界的な循環  
器疾患の研究会も主宰。世界中から  
5千人もの医師が参加しているとい  
う。

## 30. Takahiko Suzuki

- ①医療法人連心会豊橋ハートセンター  
②愛知県豊橋市大山町字五分取21-1  
③0532-37-3377 ④院長 ⑤カテー  
テル検査3,025例、カテーテル治療  
1,128例 ⑥カテーテル検査約50,000  
例、カテーテル治療約20,000例  
⑦月、火、木 ⑧一 ⑨一 ⑩何でも好  
き。最近は素食。お肉やお魚を少なめに  
して野菜を上手にとる ⑪山登り、ゴルフ  
⑫努力 ⑬散歩、ゴルフ







34. Ikuhide Okawa

- ①医療法人連心会豊橋ハートセンター ②愛知県豊橋市大山町字五分取21-1 ③0532-37-3377  
④副院長 ⑤冠動脈バイパス手術約140例、弁膜症手術約90例、大動脈瘤手術など約70例 ⑥心臓血管外科手術約3,000例 ⑦火、木、土 ⑧公平なこと  
⑨いいかげん ⑩プリン ⑪競馬 ⑫日はまた昇る  
⑬家でゴロゴロしている

File  
34

## 大川育秀

豊橋ハートセンター(愛知県豊橋市)  
副院長

### 人工心肺を使わない手術に 積極的に取り組む

低侵襲のバイパス手術に積極的に取り組んでいる大川育秀先生。ライブ手術により医療技術の向上を図る豊橋ハートセンターは、人工心肺を使わない手術(オフポンプ手術)を積極的に取り入れていることでも知られている。「人工心肺を使わないほうが患者さんの負担が少ないのです」

しかし、合併症の心配がほとんどないオフポンプ手術は、心臓を動かした状態で手術するため医師に高度な技術がなければ危険性も高まる。「人工心肺を使って手術するのと同じよ

うにやっています。妥協はしません」と、大川先生は淡々と語る。

冠動脈バイパス手術は、移植する血管の見極めも重要。従来は足の静脈を移植することが一般的だったが、術後の経過が良いことから現在は胃の内胸動脈を使うことが多い。「だからといって、移植に全部動脈を用いれば良いというものではありません。動脈の移植は時間がかかるので患者さんに負担がかかります。自分の技術を過信せず、患者さんのための手術を行うことが第一なのです」